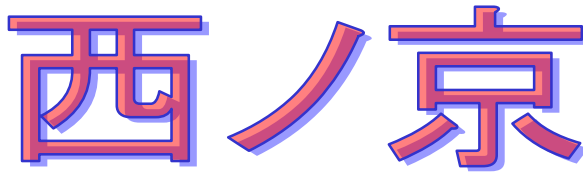


学校教育目標  
心豊かで しなやかに  
生きる力 を育成する



京都市立西ノ京中学校  
学校だより ⑩  
令和3(2021)年1月29日  
校長 内田 隆寿

# 学校改善に向けた保護者アンケート

## ～ ご協力ありがとうございました ～

### 02年度後期 保護者アンケート 前期比較

2020(令和2)年12月実施 回収数 173校  
2020(令和2)年07月実施 回収数 183校

	質問項目	A+B		A そう思う		B 大体そう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない	
		02後期	02前期	02後期	02前期	02後期	02前期	02後期	02前期	02後期	02前期
学校生活・学習面	子どもは安心して楽しく学校に通っている。	93.6%	93.4%	46.2%	45.3%	47.4%	48.1%	5.8%	5.0%	0.6%	1.7%
	子どもは学校の授業を「わかる」と言っている。	76.9%	80.0%	23.1%	25.6%	53.8%	54.4%	17.9%	16.7%	3.5%	3.3%
	子どもには基礎的な知識や技能、学力がついてきていると思う。	78.0%	78.3%	22.0%	20.6%	56.1%	57.8%	17.9%	16.1%	2.3%	5.6%
	子どもは校則やきまりを守っている。	98.8%	97.2%	62.4%	66.3%	36.4%	30.9%	0.0%	2.8%	0.6%	0.0%
	子どもは部活動に楽しく熱心に参加している。	83.2%	91.0%	47.4%	53.4%	35.8%	37.6%	5.2%	4.5%	4.6%	4.5%
	子どもには困ったことや悩みを相談できる友人がいる。	82.1%	83.5%	36.4%	35.2%	45.7%	48.4%	14.5%	13.7%	3.5%	2.7%
	子どもは家で予習や復習、宿題等の勉強ができています。	71.7%	74.7%	25.4%	23.1%	46.2%	51.6%	22.0%	20.9%	5.8%	4.4%
	子どものことについて、先生と気軽に相談できる。	79.2%	73.3%	26.6%	21.1%	52.6%	52.2%	15.6%	21.1%	4.6%	5.6%
	学校の様子や、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる。	85.0%	86.7%	25.4%	21.5%	59.5%	65.2%	11.0%	12.7%	4.0%	0.6%
	校舎・教室は整理整頓され、掲示物等は分かりやすく配置されている。	89.0%	93.1%	24.9%	21.8%	64.2%	71.3%	5.2%	6.9%	2.3%	0.0%
	学校は一人ひとりを大切にしたい教育活動をすすめている。	84.4%	86.0%	17.3%	16.9%	67.1%	69.1%	11.0%	12.9%	2.3%	1.1%
	西ノ京中学校の教育活動に満足している。	87.9%	89.3%	20.2%	20.3%	67.6%	68.9%	8.7%	9.6%	2.3%	1.1%
家庭生活・家庭の役割	子どもは「早寝・早起き」を心がけている。	62.4%	62.6%	14.5%	20.3%	48.0%	42.3%	31.8%	27.5%	5.8%	9.9%
	子どもは朝ごはんを毎日きちんと食べている。	92.5%	89.0%	68.8%	62.1%	23.7%	26.9%	5.8%	7.1%	1.7%	3.8%
	子どもに家族の一員として、役割と責任を持たせるようにしている。	80.9%	81.9%	27.7%	26.9%	53.2%	54.9%	17.3%	17.0%	1.7%	1.1%
	子どもに規範意識(マナー・モラル等)について教えている。	97.1%	98.4%	40.5%	41.8%	56.6%	56.6%	2.9%	1.6%	0.0%	0.0%
	子どもは家庭での読書習慣がついている。	35.3%	31.9%	13.9%	11.5%	21.4%	20.3%	38.7%	42.9%	26.0%	25.3%
	子どもは自らすすんで「おはよう」「ただいま」などの挨拶ができています。	80.9%	82.4%	43.4%	40.7%	37.6%	41.8%	14.5%	14.8%	4.6%	2.7%
	子どもは配布物を必ず見せ、学校のことをよく話してくれる。	76.3%	77.1%	26.0%	26.3%	50.3%	50.8%	19.7%	19.0%	4.0%	3.9%
	授業参観や学校行事などに、できるだけ参加している。	79.8%	76.5%	24.3%	15.9%	55.5%	60.6%	15.0%	19.4%	2.9%	4.1%
	PTA活動には、できるだけ参加したいと思っている。	63.0%	53.7%	13.9%	7.3%	49.1%	46.3%	25.4%	35.0%	10.4%	11.3%
	塾や習い事以外に夜間の外出はさせていない。	94.2%	96.7%	75.1%	72.8%	19.1%	23.9%	4.6%	2.2%	0.6%	1.1%
感染防止対策の習慣	ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている。	74.0%	76.8%	29.5%	29.4%	44.5%	47.5%	22.0%	19.2%	4.0%	4.0%
	子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ対話している。	75.1%	76.1%	28.9%	28.3%	46.2%	47.8%	24.3%	21.1%	0.6%	2.8%
	子どもは朝夕の検温など健康観察をしっかり行っている。	89.0%	91.7%	45.7%	42.2%	43.4%	49.4%	9.2%	6.1%	1.2%	2.2%
	子どもはマスクの着用をしっかり行っている。	99.4%	99.4%	83.8%	78.3%	15.6%	21.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
	子どもは手洗いをこまめに行っている。	95.4%	95.0%	54.3%	55.0%	41.0%	40.0%	3.5%	4.4%	0.6%	0.6%
取組	子どもはいつもハンカチを携帯している。	80.9%	85.6%	50.3%	50.6%	30.6%	35.0%	13.3%	12.8%	4.6%	1.7%
	子どもはソーシャルディスタンスを心がけている。	82.1%	77.8%	30.6%	28.9%	51.4%	48.9%	16.2%	21.7%	1.2%	0.6%
	学校再開後の健康・安全面への配慮は適切に行われている。	92.5%	96.1%	32.4%	20.8%	60.1%	75.3%	5.2%	3.4%	0.6%	0.6%
	学校再開後の教育課程(学習活動など)は適切に行われている。	90.8%	93.8%	28.3%	18.1%	62.4%	75.7%	6.9%	5.1%	1.2%	1.1%

多重回答や無回答、四捨五入処理のため、合計は100%にならない場合があります。

12月に実施した後期保護者アンケートの結果をお伝えします。

例年のことですが、時間の経過とともに生徒たちの様子も変化してきており、最初は初々しい気持ちで緊張感を持って取り組んでいたことが、学校生活に慣れるにしたがって疎かになってきたり、また、保護者の方も前回より高い水準で学校の取組を評価されたりすることから、従来、後期は前期と比べてやや数値が低くなる傾向があります。また、今年度は、このコロナ禍で様々な行事が中止となり、学校の様子などを知っていただく機会が唯一体育祭しかなく、その他はホームページや学年・学級だよりなどに限られた中でのアンケート実施のため、この後期の集計結果については例年以上に低くなるかもしれないと予想していましたが、若干低くなっている項目はあるものの、特別取り上げるほどの大きな変化はなく、全体としては比較的高い評価をいただきました。皆さんには「子どもたちは、校則やきまりを守り、おおむね安心して学校に通っている」とお考えいただいているようです。また、同時にコロナ禍の中で学校として大切にしていきたい

いことも数々考えさせられる結果もいただきましたので、そのことも含め特徴的なこと、気になることをあげていきたいと思います。なお、回収数は前期と同様に例年よりも増加しております。この状況下でアンケートを通じて伝えようとしてくださった保護者の皆さんの意識のあらわれであると感謝しております。ご協力いただきどうもありがとうございました。



「子どもは安心して楽しく学校に通っている」の項目について、前期とほぼ変化はなく、比較的高い数値をいただいておりますが、例年より「Aそう思う」と答えていただいている割合が低いのは、子どもたちの様子から、コロナ禍の中での不安感を感じ取っておられる保護者の皆さんのご心配のあらわれだと考えています。なお、生徒アンケートでは、全体としては保護者アンケートの数値よりやや高く、また、6割以上の生徒が「Aそう思う」と答えています。ただ、「学校の安心」は、もちろんコロナに対する感情だけではなく、友達や先生とのコミュニケーション、授業や部活動の雰囲気など、さまざまな要素を含んでの安心感です。したがって、学校としては「Cあまりそう思わない」「Dそう思わない」と答えている少数の回答にもしっかりと目を向け、課題解決を図っていきたいと考えています。

「子どもは学校の授業を「わかる」と言っている」の項目は、8割を少し切りました。実は、生徒アンケートでは、9割以上の回答を得ており、保護者の皆さんからは「ほんと!?!」「結果で示してよ」と生徒たちに突っ込みが入りそうです。ただ、今年度は当初の臨時休業期間の授業を家庭学習教材や45分7時間授業で回復したため、若干詰め込んであるものの、その分できるだけわかりやすい授業をいつも以上に心がけています。また、今年はコロナ禍の中、「禍転じて福となす」の例として「子どもは家で予習や復習、宿題等の勉強ができています」の項目が7割（生徒アンケートでは8割）を超えており、比較できるこの数年では最も高く、1割程度増えています。このような家庭学習習慣の定着とわかりやすい授業がうまく組み合わせよう、学校として学力向上の取組を進めて行きたいと考えています。



前期で8割を切った「子どものことについて、先生と気軽に相談できる」の項目は、時間を経ることで若干回復してきました。子育てに正解はありません。それぞれの立場でコミュニケーションをとり、理解し合う中で最適なアプローチの方法がみえてくることも多々あるかと思います。学校での生徒の様子などを直接見ていただくことが叶わない一年となりましたが、今後状況がどのようなだろうと、遠慮なくご相談いただければと思います。



毎回話題にのぼる「子どもは家庭での読書習慣がついている」の項目も「禍転じて…」の例として徐々にではありますが伸び続けています。また、今回は「PTA活動には、できるだけ参加したいと思っている」の項目が昨年度後期アンケート以降、回ごとに1割ずつ増えています。少しでも学校や他の保護者との情報共有を図りたいという思いのあらわれであると感じています。今年度はコロナ禍のこともあり、秋よりPTAメール配信システムの運用を始め、現在のところ家庭数に対して約7割の方に登録していただいております。PTAが主体となった情報発信は今後様々なかたちでの活用が考えられますので、積極にご登録いただくとともに、子どもを中心としたコミュニケーションの場としてのPTA活動にご参加ご協力いただけると幸いです。なお、メール配信登録は年度途中からでも可能ですので、プリントが無い方は担任にお尋ねください。



今年度よりアンケート項目に追加した「感染防止対策の習慣」では、「子どもはいつもハンカチを携行している」の項目が気になります。学校では「こまめな手洗い」を推奨していますので、そのための必需品としてご家庭でもご指導よろしく願いいたします。また、「コロナ慣れ」という言葉があるように、時間の経過とともに緊張感が薄れてしまうことも心配です。今、緊急事態宣言が発出されている中、一日も早く収束するよう、学校としては、今後も感染防止対策に取り組み、少しでも安心できる環境を整えたいと思います。

最後に、withコロナ・afterコロナを踏まえてご意見をお伺いしたところ、12名の方にご記入いただきました。「学校行事等の実施について」「コロナ禍における保護者の思い」「学校に対する激励」「感染防止対策や感染者が出た時の学校・家庭それぞれの対応について」といった内容でした。これらについては、無記名アンケートという性格上、個々にお答えすることはできませんが、そのすべてを職員会議や学校運営協議会の場で原文のまま公表し、分析検討して今後の教育活動の向上に生かしてまいります。

